

Bangladesh Education Support Society

Bangladesh Education Support Society

BESS 5年間のあゆみ

〈2009年(H21)7月~2014年(H26)9月〉

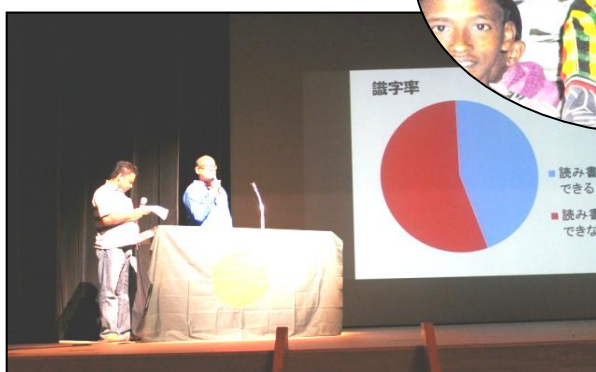
《5周年 記念誌》

平成26年8月作成

H25年にできた図書館
「BESS AND KONAN CITY LIBRARY」



机、いすもしっかりし、広くなった教室



現地よりピンドウ校長を招いて
講演・映画会を行った。



BESSの支援を受けて民芸品
作成の訓練をしている。



Bangladesh Education Support Society (BESS)

目 次

代 表 挨 拶	森崎芳子 . . .	3
現地校長挨拶	ナジバル ラフマン ビンドウ . . .	4
変 化 を 感 じ て	佐竹静江 . . .	5
B E S S と 5 年	山田元子 . . .	5
BSDP スクールの先生のスピーチ . . .		6
BSDP スクールの子供からの手紙・日記 . . .		7

<p>バングラデシュ教育支援の会 (B E S S) 基本的な考え方と 5 年間の活動・成果</p>
--

(1) 支援の背景 . . .	8
(2) 活動のねらい . . .	9
(3) 活動の内容 . . .	9
(4) 5 年間活動の成果 . . .	1 0
B E S S 5 年間のあゆみ . . .	1 1 ~ 1 5
B E S S だより 1 ~ 9 号表紙 . . .	1 6
B E S S のちらし、規約など . . .	1 7
バングラデシュの基本情報 . . .	1 8
B S D P スクール 児童数の推移・時間割 . . .	1 9
縫製訓練 修了生の数 . . .	1 9
バングラデシュのアラカルト (写真) . . .	2 0
B E S S のスタッフ、協力者、問合せ先 など . . .	2 1

バングラデシュ教育支援の会(BESS) 5周年を迎えて

代表 森崎 芳子



私たちバングラデシュ教育支援の会(BESS)は、バングラデシュのナラヤンゴンジ チャンパラ地区にある約50000人が住むスラム街の教育支援をしています。

平成21年7月に会を立ち上げ、早いもので丸5年が過ぎました。会員の皆様をはじめ、多大なご支援をしてくださりました皆様方に心よりお礼を申し上げます。

おかげさまでこの5年間で様々な活動ができ、成果を上げることができたと思います。

バングラデシュでは小学校5年生までは義務教育になっていますが、貧困な国で政府に力がなく国による運営は約半分で、あとの半分は国内・国外の心ある人の努力によるNGOに頼り、経営が成り立っていないことや地方には学校さえないところがまだたくさんあります。

現地のビンドウ氏も本来はこのスラム街にただ一つある高等学校の校長であり、この小学校の運営は全くのボランティアで行い、経営が成り立っていませんでした。

このスラム街にビンドウ氏が作った小学校はありましたが、先生の給料は払われていず、校舎は穴のあいたトタンで囲った狭い小屋で、暑くて暗くて雨季には雨漏りや浸水し、子供たちは文具や教科書など大変不足して学習できる状況ではありませんでした。

この5年間BESSの支援により、子供たちは新しい文具や教科書を手にし、また皆様から頂きました中古文具もたくさん使わせていただき学習してきました。

3棟の校舎もすべて建て替え、しっかりした机や椅子も入れ、今は広くて蛍光灯や扇風機もついている教室で勉強することができています。5人の先生にも少ないですが安定した給料を払うことができるようになりました。

この地域を変え、自立してもらうためには早婚で子供を産み、学校にも行けなかった多くの女性達が手に職をつけ収入を得て自分の子どもは自分たちの手で学校に行かせ、自立しなければならない…ということで、縫製訓練やノクシカタの刺しゅうの訓練をしてきました。今では美しい民芸品をかなり作ることができるようになりました。

BESSは5年を迎えました今、みなさまから御会費をいただいている運営は一応終了し、これからは現地の女性たちが作れるようになりました民芸品をフェアトレード商品として買い上げ、その収益を現地女性の民芸品制作活動や子供たちの教育に還元していけるようにしていきたいと思っています。

しかしそれだけでは解決できない問題がまだ山積していることも事実です。たとえば今急務な問題は、小学校5年までは義務教育で卒業できたとしても、中高等学校は入学金800タカ(日本円で約960円)や毎月の月謝約90タカ(約110円)が必要で、払えずに行けない子供がたくさんあり里親を探しています。もしなっただけの方がありましたら、現地に紹介したいと思っていますのでよろしくお願い致します。

私たちBESSが行ってきましたことはこの地球上のほんの小さな1点の草の根の活動ですが、世界にはまたこのNGO・NPOの活動がたくさんあり、地球上を良くしていると確信しています。私たちはただかわいそうというだけでなく小さな力ではありますが、一歩踏み出して、できることをしてまいりました。これからも私たちはフェアトレードによる支援を中心に進めていきたいと思っています。

バングラデシュが、世界が、そして日本が、国内、国外を問わず、お互いの幸せや平和を願い助け合いの気持ちをもって信じる事を進めていくことができると願っています。

これからも皆様方にはいろんな形で出会うこともあると思いますがどうかよろしくお願い致します。

BESS の皆様、日本の皆様へ

BSDPスクール 創設者・校長
ナバキショロイハイスクール創設者・校長
MD ナジバル ラフマン ビンドウ



BESS の 5 周年のニュースを聞いて私は大変うれしく思いました。
5 周年を心よりお祝い申し上げます。

私は BESS の会員の皆様、日本の皆様に大変感謝しています。

最初私が日本に行った時は 2008 年で、その時は日進にあるアジア保健研修所 (A H I) で研修を受けていました。その時に日本の方と知り合い、バングラデシュの教育の現状を訴え、日本の皆さんから支援を受けることができるようになりました。

BESS の皆様はバングラデシュの人たち、とりわけチャンパラ地方にあるスラム街の貧しい人たちや子供たちを支援してくださいました。

BESS のサポートによって、BSDP 小学校の子供たちが教育の機会を持つことができ子供たちは学校に行けるようになりました。

学校の子供たちは図書室を作ってもらい、たくさんの図書の本とコンピューターを 2 台設置することができました。チャンパラの子供たちは今までコンピューターを見たことがありませんでした。子供たちは図書館を作ってもらい、親たちも大変喜び、BESS の皆様に大変感謝しています。子供たちは図書館で読書をしたり、コンピューターに触れて楽しんでおり、毎日幸せです。

支援が始まって 5 年がたち私たちは、このスラム街が大きく変化したことがわかります。支援の前は 20% ぐらいの子供しか学校に行きませんでした。BESS の支援が始まってから年々学校に行く子供が増え、今ではこのスラム街の 60% の子供が BSDP スクールに通うようになりました。その人数は、前は 150 人の生徒数でしたが、今では 421 名の生徒が学校に来て勉強をしています。

生徒たちは将来のためには教育が必要であることが分かってきて今一生懸命勉強するようになりました。生徒たちは 5 年生を終了し、次は中学・高校へ行くことを願っています。しかし中学校の入学金や月謝が払えずに行けない子供がたくさんいます。

親たちは食べることに精いっぱい、ときには父親がいなかったり、母親がいなかったりします。

スラムの少女・女性たちはいつも男性に暴力を受けています。

学校に行けなかった女性たちは今、ノクシカタの刺しゅうや縫製の訓練を受け、5 年間で 390 人が修了しました。訓練を受けた女性たちは縫製工場で仕事をしたり美しい民芸品を作り、自分達でお金を稼いで成長することができるようになりました。

BSDP プログラムは特に教育のプログラムと女性のプログラムがますます発展し、女性たちはリーダーシップをとり自立していくでしょう。

私は BESS がますます大きな団体になって次にはバングラデシュ全体を支援してくださることを願っています。BESS の成功と会員が増えていくことを願っています。

昨年私は日本に行き、江南市に滞在しました。たくさんの人たちや BESS の人たちがいました。皆さん方はとてもやさしくて親切でした。

私達はもう一度 BESS のみなさま、日本の皆様にお礼を申し上げます。
ありがとうございました。

変化を感じて

佐竹 静江



この目で確かめたい心で感じたいと、現地を訪れ早や5年、あっという間に過ぎ去ったような気がします。現地で見たこと感じたことショックの連続でした。女性の地位の低さや小さな子どもの労働、国の乱れが横行し一体この国はどうなっているのかと怒りがこみ上げてくることばかりでした。

少しでも役に立ちたい。そんな気持ちが支援のきっかけとなりました。

会員の皆様の協力もありこの5年間、支援している中で少しずつ変化が見られ、わずかであるが女性は働く場所と収入を得ることができ、子ども達は新校舎の中で教育を受けようとする児童も増えてきました。

今後、教育を受けた子ども達がいずれ立ち上がりバングラデシュという国を変えていくてくれることを願うばかりです。

5年間の教育支援は終わりましたがやっと軌道に乗り出した民芸品の支援は、遠い地から手助けをするつもりです。同じ女性として、バングラデシュのどんな女性にも地位や人間としての尊厳や自由を手に入れてあげたいと思います。

今まで見守って頂いた皆様方、心よりお礼を申し上げ感謝いたします。

ありがとうございました。

BESSと5年

山田 元子



BESSの活動を始めて、いつの間にかもう5年がたちました。

「バングラデシュってどんな国？」と、最初は国の名前の他はほとんど何も知らなかったバングラデシュが、今では最も関心のある国の一つになりました。

BESSの活動を通して多くの方々と出会い、様々な生き方があることに気付かされました。また、今まで知らなかった海外の暮らしを知ることは、自分を振り返る機会にもなりました。バングラデシュでは、親しみを持って接してくれる人や、私から思えば厳しい環境の中でも強く生きている人たちに会いました。

子どもたちの教育のためにと始めた活動でしたが、私の方がたくさんの物をもらったような気がします。医者になりたい。教師になりたい。ダンサーになりたい・・・と夢を語っていた子どもたちが成長してバングラデシュが発展していきますようにと願っています。

BESSの活動が続けられたのは、いろいろな場面でご協力いただきました皆様のおかげと感謝しています。ありがとうございました。

BSDPスクールの先生のスピーチ

ナスマ ベグム

私はナバキシヨロイハイスクールを卒業して、SSCの国家試験を受け合格しました。1994年からBSDPスクールで働いています。



先生という仕事はとても偉大な仕事だと思っています。地域の人たちは私を慕ってくれますので先生という仕事を続けることができます。私はたくさんのおもたちを教育し、そのおもたちもまた教えています。

給料をたくさんもらえる仕事は他に多くありました。この先生という仕事は給料はあまりもらえませんでした。しかし私はこの仕事が好きですので、ずっと続けてきました。人々は私を尊敬してくれています。

私は生徒たちが卒業して、自分の力で生活し、正直に生きて行ってくれることを期待しています。私はこれからもほこりを持ってこの仕事を続けていきたいと思っています。

Q：学校の問題点は何ですか？

- ・ 一番の問題点は学校へ来ない子どもがまだたくさんいることです。学校へ来ない子どもは学校へ来る子供に、なぜ学校へ行かなければいけないのと言って、遊びや他の方向へ誘惑してしまいます。
- ・ 二番目の問題点は、子供がちょっと大きくなると、親はもう学校に行かなくてもいいと言って子供を仕事に連れて行ってしまうことです。学校へ来る子どもの親は私を尊敬してくれますが、子どもを学校へ行かせない親は、問題が多いです。

マフィア アクタル

私はハイスクールを卒業して2006年にSSCの試験を受け合格しました。卒業後先生になり、BSDPスクールで働きました。この仕事はお金の問題ではなく、とてもいい仕事だと思っています。



生徒が勉強して卒業後自立していくことは国にとってもこの地域にとっても大切なことです。私はこの仕事ができて幸せです。

校長は常に私たちを助けてくれるし、BESSは私たちをサポートしてくださるから大変感謝しています。

私は今18歳で2年前に結婚して1歳になる息子がいます。昼間は義母がわたしの子どもの面倒を見ています。家が学校から近いので、時々子どもの面倒を見に家に帰ります。

注： バングラデシュでは15~16歳で結婚する女性が大変多く、子どもを産み、家事をするのが殆どである。

現地学校の子どもからの手紙

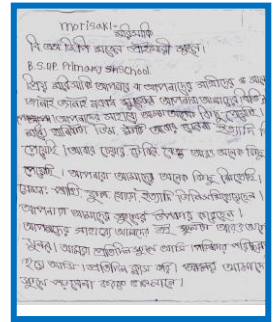
BESS の皆様へ

BESS の皆様にはいつもいろいろな支援をいただいています。

新しい教室を建てていただきました。教室の中には机や椅子を入れていただきました。皆さんはこの学校にたくさんの支援をしてくださったので、この学校は前より広くきれいになりました。時々パンやゆで卵もいただきました。折り紙で鳥や花、馬などの作り方を教えていただきました。

私たちは毎日この学校に来ます。髪や服など清潔にして学校に来ます。毎日授業を受けています。学校で勉強することはとても楽しいです。皆さんが学校に来てくださると大変楽しいです。皆さんどうかまたこの学校に来てください。

さようなら あなたの友達 シラ アクトル (BSDP スクール 4年生)



BESS の皆様 こんにちは。

皆様は私達の学校にたくさんの支援をしてくださって、多くの変化が出てきました。BESS の皆様のおかげで、学校が大変きれいになりました。BESS の皆様本当にありがとうございます。

私達の学校がもっともっときれいになることを願っています。

日本の人たちが来てくれて大変うれしいです。私は学校が大好きです。もっともっと勉強したいです。

私達はまた BESS のみなさんに学校に来ていただきたいです。

アシュラフル (BSDP スクール 5年生)

子どもの日記

「私 の 一 日」

5年生

私は朝早く6:00に起きてまず髪を結び、歯を磨き口をゆすぎ顔を洗います。それからモスクに行きます。家に戻ってきて朝食を7時頃食べます。

ロティ(小麦粉を練って焼いたもの)を食べました。

父は仕事に行きます。母は家の仕事をします。

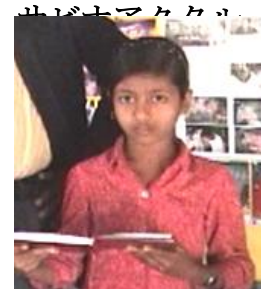
私はお母さんの手伝いをします。その後、妹と一緒に学校に行きます。

学校ではまず朝礼があります。朝礼ではしゃべってはいけません。国歌を歌い、国旗をあげます。いつも友達と仲良く遊びます。

家に帰ってカバンを置き川に行きます。川で沐浴をします。その後、昼ご飯を食べます。10分ぐらい休んで母の手伝いをします。そのあと少し寝ます。

午後は(16:00頃)フィールドに行き友達と仲良く遊びます。家に帰って、ビスケットを少し食べ、その後、勉強をします。

夕食は、父や母、兄弟と一緒に9:00頃食べます。ごはん野菜を食べました。その後10:00頃寝ました。



Bangladesh Education Support Society (BESS)

基本的な考え方と 5年間の活動・成果

(1) 支援の背景 (平成22年10月作成)

・ Bangladesh は今発展する途上国と言われているが、依然として貧しい人が多く、教育面でも識字率は約50%である。政府による学校は半分ほどで、あとは NGO による学校で経営が成り立っていない学校が多かったり、学校の数もまだ足りない。

・ 2年前に縁あって知り合ったナジバル ビンドウ氏はナラヤンゴンジのチャンパラにある約50000人の人たちが住むスラム街で、1991年に NGO「BSDP」(Bangladesh Slum Development Program) を立ち上げ、人権、婦人問題、健康問題等の解決に取り組んできた。1993年に母親達の要請により小学校を作ったが2001年支援団体の引き上げによりその後は特に経営が成り立っていなかった。このスラム街では8割以上の人たちが文字が読めず、学校に行っていない子どもたちもまだ多い。

・ 2009年2月に下見に行ったが、経営する学校は先生に給料が払えず、子供たちの文具、教科書もない、トタン板で囲った校舎は狭くて焼けつくような暑さで暗く、雨季には教室の地面が浸水したり雨漏りし、経営が成り立っていなかった。

・ 今や世界には、環境・貧困の問題など様々な問題があるが、その国の責任だけでなく、地球規模で考えなければならないと思う。国外でも、国内でも、きっかけのある所でお互い助け合っていく草の根の活動は、世の中を世界をよくしていくものと信じる。

・ 日本での1000円、2000円…と寄付していただいたお金が集まり、 Bangladesh では約10倍ほどの価値になり子供たちに文具・教科書等を買ったり、校舎までも建て変えることができ、現地の子どもたちや人たちのを救うことができる。私たちの生活を見直し、世界のことを考える良いきっかけにもなると思う。

・ 可哀相というだけではなにも進まない、まず一歩踏み出すことが大切と考え、2009年7月にこの学校を支援する BESS(Bangladesh Education Support Society)を3名で立ち上げた。2011年度は390名ほどの児童が文具、教科書を使って勉強をできるようにし、校舎の改築をして教育環境を整えることが早急に必要である。

・ このような状況の中でまず教育の支援や女性の自立支援が必要と考え、会員、寄付者、協力者を募り、支援金を集めたりバザーをするなどして活動してきた。

(2) 活動のねらい

「支援の3本柱」を中心に支援し、現地の子供や女性達が教育を受けたり自立を目指すことができるようにする。

- ① 「児童への文具・教科書等の直接的支援」
BSDP スクールの子どもたちに、鉛筆、ノート、教科書を使って勉強できるように支援し、教育効果を上げる。
- ② 「校舎建築などの教育環境整備の支援」
 - ・ 校舎建築や、丈夫な机・いすの購入・蛍光灯、扇風機の取り付けなどして教育の環境を整え学習できるようにする。
- ③ 「女性達の自立のための縫製訓練の支援」
 - ・ 母親達を含む女性たちに縫製品の製作指導をして、フェアトレード品を作れるようにし、自立を目指す。
- ④ 国内では趣旨をアピールし、理解者、協力者を増やし、活動の輪を広げる。

(3) 活動の内容

- 地域住民に活動の趣旨をアピールし、会員、寄付者、協力者を募る。
- 年1回の総会を開き活動・会計の報告・次年度の活動・会計の予定を話し承認を得る。
- 総会の後にセミナー・交流会を開き、現地の話をしたり、教育や貧困、宗教の問題について学び、理解を深めてもらう。
- 会員や協力者など相互の交流を深め絆を深める。
- 年2回「BESSだより」を発行し、現地の様子や活動の様子、考えなどを知ってもらい、理解を深めてもらう。
- 近隣市まちで行われるイベントに参加し、フェアトレードのバザーをしたり、フリーマーケット、募金活動、チャイのサービス、宣伝活動を行い、活動資金や支援金を集め、助け合いの輪を広める。
- 幼・小・中学校や高齢者や子供サロンなど機会があるごとに出かけバン格拉デシュの講座や文化体験等のワークショップを行い、バン格拉デシュや活動について知ってもらったり理解を深めてもらう。
- 毎年度1回以上のスタディーツアーを行い、現地の様子を見たり交流を行い、バン格拉デシュについての理解を深め、会員・協力者や地域住民に報告をして生の様子や声を伝える。

(4) 5年間の活動の成果

- ① 現地子供たちの文具、教科書などの支援をすることによって、子供たちは学習することができるようになり、教育に対する関心も高まり、当初児童数が252名であったのが現在は421名と学校へ来る子供が増えてきた。
- ② 5年間で3棟6教室分の校舎を建て替えた。机、いすもしっかりしたものに取り換え、蛍光灯や扇風機をつけて学習環境を整えた。これはBESSからの支援金とともに現地でも費用の3割程度を集め、完成したものである。子供たちは広い教室で雨漏りや浸水せず、蛍光灯や扇風機もついた広い教室で勉強できるようになった。
- ③ 学校に行けなかった女性たちが縫製技術を身につけ収益を得て、自分の子供は自分たちで学校に行かせたり、自立できるように訓練をしている。刺しゅうやミシンの技術が身につき、たくさんの美しい民芸品を作る事ができるようになり、フェアトレード商品として販売できるまでなってきた。

フェアトレードについては近年国内でも関心が高まりつつあるが、更に広めていければと思う。収益は縫製訓練の指導者の給料や材料費に当てることができるようになってきた。
- ④ 国内では年1回の大きなセミナーや小・中学校、子供・高齢者サロン等で国際理解講座やワークショップを行い、バングラデシュの生活、教育、貧困、宗教などについてビデオやスライドを見せながら話したり考えてもらったりした。また、美しいサリーや食べ物など文化について紹介したり体験してもらい、違いに気付いてもらったり楽しんでもらった。
- ⑤ 年2回発行する広報誌「BESSだより」では、現地の様子や活動の様子を伝えアピールし、会員や協力者が増えたり関心を持ってもらえるようになってきた。
- ⑥ 去年は江南市より「街づくり事業」の助成金を受け、現地よりビンドウ校長を招へいし講演会や映画会を行った。400名以上の地域住民に参加してもらい、協力金や寄付金もたくさん集まった。これは地域住民の関心や意識を高めるとともに、集まった支援金を現地に渡し図書室を作り、図書やコンピューターを充実させることができた。

また校長の日本滞在中には小中学校やその他多くの団体を訪問して講座を行い、交流もでき有意義であった。その後も学校やいろんな団体でワークショップを行い、世界的視野を深めてもらうように努力してきた。
- ⑦ 年1回以上のスタディーツアーを行い、現地の状況を実際に見たり交流を深めた。安全な国ではないので希望者は少なかったが、下見を含めて5年間で7回訪問することができ、帰国後は報告もし、有意義であった。

BESS 5年間のあゆみ

時期	BESSの活動	写真で見るBESSの歩み	学校・縫製教室の状況
2009.2 初年度	・チャンパラスラムにある学校を見学 (森崎、樋田)		・ 児童数252人
2009.7 (平成21年)	・「BESS」の設立		
2009.8	・江南国際交流フェスティバル 民芸品販売・会員募集	第1回役員会	暗くて狭い教室
2009.10	・ベンガルカレー作り・試食会 (8名参加) ・試作品の作成(腕カバー)		
2009.11	・江南市健康フェスティバル チャイのサービス・ バングラデシュ紹介紙芝居 ・映画「アリ地獄のような街」鑑賞	健康フェスティバルでチャイのサービス	古い机で勉強する子どもたち
2009.12	・バングラデシュスタディツアー (森崎、佐竹) 学校・スラム街の視察 支援金・中古文具を寄付 腕カバーの縫製指導 縫製訓練修了式参加 日本文化の紹介 茶道や日本舞踊を披露 募金活動		・支援金83,000円
2010.1 (平成22年)	・スタディツアーの報告	スタディツアーで文具を渡す	
2010.3	・フリーマーケット (大口町KHK) ・「BESSだより」創刊号発行		・ 児童数331人
2010.4	・フリーマーケット (犬山平安会館)	現地では日本文化の紹介	・文具・教科書配布
2010.5	・曼陀羅寺藤まつり チャイのサービス 募金活動 ・江南市子どもフェスティバル チャイのサービス		
2010.7	・江南市国際理解講座参加	セミナーでサリーの着付け紹介	教科書を手にして喜ぶ子どもたち
2010.8	・江南市国際交流フェスティバル 民芸品の販売・宣伝 ・BESS初年度総会・セミナー ・「バングラデシュの屋下がり part1」 ーバングラデシュってどんな国？ー		
		セミナー後の交流会の様子	雨季に水がはいつてくる教室

2年度			
2010.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「BESSだより」2号発行 ・フリーマーケット (大口町KHK) 		<ul style="list-style-type: none"> ・校舎建築始まる。 3棟のうちの1棟
2010.11	<ul style="list-style-type: none"> ・NGO研修生の1日研修 ・江南市健康フェスティバル チャイのサービス 募金活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・縫製教室を始める。
2011 .1 (平成23年)	<ul style="list-style-type: none"> ・Bangladeshスタディツアー (森崎、山田) 支援金・中古文具を寄付 財布などの縫製指導 縫製訓練修了式参加 運動会観戦 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童数395人 ・文具・教科書配布 ・支援金100,000円
2011 .3	<ul style="list-style-type: none"> ・「BESSだより」3号発行 ・フリーマーケット (入鹿池春まつり) ・フリーマーケット (大口町KHK) ・モリコロ支援基金受領(30万円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・初めての運動会
2011 .4	<ul style="list-style-type: none"> ・曼陀羅寺藤まつり チャイのサービス・募金活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・支援した縄跳びで運動会
2011 .5	<ul style="list-style-type: none"> ・江南市子どもフェスティバル チャイのサービス 		<ul style="list-style-type: none"> ・校舎1棟目が完成
2011 .6	<ul style="list-style-type: none"> ・宮田学供高齢者サロン Bangladeshの紹介 サリーの着付け 		<ul style="list-style-type: none"> ・1棟目の新校舎 ・支援金400 \$ (38,678円)
2011 .7	<ul style="list-style-type: none"> ・Bangladeshスタディツアー (森崎、久徳) 支援金・ポット・ラジカセを寄付 パン、卵を配布 		<ul style="list-style-type: none"> ・天井や机が新しく、広くなった教室
2011 .8	<ul style="list-style-type: none"> ・江南市国際交流フェスティバル 民芸品の販売 		
2011 .9	<ul style="list-style-type: none"> ・BESS2年度総会・セミナー ・「Bangladeshの屋下がり part 2」 -教育をうけないとどうなるの?- 		

3年度

2011.10
 ・「BESSだより」4号発行
 ・アジア保健研修所まつりに出店
 ・フリーマーケット
 (KHK)

2011.11
 ・犬山子ども大学でワークショップ
 ・江南市健康フェスティバル
 チャイのサービス
 募金活動
 ・フェアトレード講習会に参加

2011.12
 ・一宮フェアトレード大会に参加

2012.1
 ・バングラデシュ ミニセミナー

2012.2
 (平成24年)
 ・江南市絆づくりカフェに出展
 ・バングラデシュスタディツアー
 (森崎、土川)
 支援金・中古文具を寄付
 パン・卵を配布

2012.3
 ・かけはし支援基金受領(20万円)

2012.4
 ・「BESSだより」5号発行

・曼陀羅寺藤まつり
 チャイのサービス
 募金活動

2012.5
 ・メーデーに出店(明治村)
 ・江南市子どもフェスティバル
 チャイのサービス
 募金活動

2012.7
 ・高齢者サロンでワークショップ
 (宮田学供)

2012.8
 ・江南市国際交流フェスティバル
 民芸品の販売

・BESS3年度総会・セミナー
 ・「バングラデシュの屋下がり part3」
 ーイスラムと女性たちー



フリーマーケット



子どもたちにパンとゆで卵を配る



サロンでサリーの着付け



3年度総会の様子



セミナーでの受付



セミナーでの講演

・刺繍の訓練が始まる。



刺繍訓練を受ける女性たち

・縫製・刺繍訓練修了生 90人

・児童数397人

・文具・教科書配布
 ・支援金1,500 \$ (119,025円)
 ・支援金1,000 \$ (82,290円)



完成間近の2・3棟目の校舎

・2棟目が完成
 ・3棟目が完成

・支援金1,000 \$ (80,500円)

・蛍光灯、黒板、壁の整備
 ・机・椅子購入



扇風機と蛍光灯のついた教室

4年度			
2012.9	・「BESSだより」6号発行・		
2012.10	・江南市民まつりでフェアトレード ・アジア保健研修所まつりでフェアトレード ・バングラデシュ講座受講 「水のヒ素問題」		
2012.11	・名古屋市南山教会にて活動発表 ・江南市環境フェスティバル フェアトレード	縫製訓練修了式	できあがった民芸品 ・縫製・刺繍訓練修了生 90人
2012.12	・バングラデシュスタディツアー (森崎夫妻) 中古文具・支援金寄付 パン、卵を配布		・支援金5,000円 ・支援金2,000\$ (190,160円)
2013.1 (平成25年)	・江南市まちづくり助成金公開審査 発表・採択(30万円)		・児童数404人 ・文具・教科書配布
2013.3	・江南市福祉まつり ワークショップ フェアトレード ・「BESSだより」7号発行・	福祉まつりでフェアトレード	
2013.4	・曼陀羅寺藤まつり チャイのサービス 募金活動		贈ったクレパスで児童が 描いた絵日記
2013.5	・メーデーに出店(明治村) ・江南市子どもフェスティバル チャイのサービス 募金活動	ビンドウ校長の講演	
2013.6	・ワークショップ(江南北中) バングラデシュ講座		
2013.7	・一宮七夕まつり フェアトレード	民芸品のフェアトレード	・支援金150,000円 (映画会協力費)
2013.8	・ビンドウ校長招へい(8/16~9/12) ・江南国際交流フェスティバル フェアトレード ・チャリティ映画・講演会 (江南市民文化会館) 映画「アリ地獄のような街」 ビンドウ校長による現地報告 ・バングラデシュ国際理解講座 (江南第Ⅱ幼稚園、ナザレ保育園) ・江南団地子どもサロンでワークショップ ・BESS4年度総会 ・カレー講座 ・ビンドウ氏と語る会		・パソコン2台購入 ・図書購入
2013.9	・バングラデシュ国際理解講座 草井小学校 古知野西小学校	カレー講座	
		ビンドウ氏と語る会	
			購入した2台のパソコンと図書

5年度			
2013.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「BESSだより」8号発行 ・江南市民まつり フェアトレード ・前野高齢者サロンでワークショップ ・アジア保健研修所まつり フェアトレード 	 <p>ガールスカウトでバンラデシュ講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室とコンピュータを設置  <p>「BESS & konan City Library」</p>
2013.11	<ul style="list-style-type: none"> ・古知野中学校文化講座 ・江南市消費生活展 フェアトレード 		
2013.12	<ul style="list-style-type: none"> ・ガールスカウトクリスマス会 バンラデシュ講座 		<ul style="list-style-type: none"> ・縫製・刺繍訓練修了生 90人
2014.1 (平成26年)	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶「FOR YOU」にコーナー設置 	 <p>子どもたちに配るカレー作り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数421人
2014.2	<ul style="list-style-type: none"> ・バンラデシュスタディツアー (森崎、山田) 文具、パン、支援金を寄付 ろうけつ染め工場見学 ・エクマツラ訪問 ・図書購入 	 <p>トレーニングセンターの前で</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文具・教科書配布 ・支援金150,000円 ・支援金80,000円(映画会協力費)  <p>毎年フセイン様ご夫妻にアドバイスをいただくなど、大変お世話になっている。</p>
2014.3	<ul style="list-style-type: none"> ・江南市福祉まつり フェアトレード ・地域まちづくり補助事業報告会 活動報告 	 <p>江南市のキャラクター「藤花ちゃん」の刺繍入り民芸品</p>	
2014.4	<ul style="list-style-type: none"> ・「BESSだより」9号発行 		
2014.5	<ul style="list-style-type: none"> ・江南市子どもフェスティバル フェアトレード 	 <p>福祉まつりでのBESSコーナー</p>	 <p>読書をする子どもたち</p>
2014.8	<ul style="list-style-type: none"> ・江南市国際交流フェスティバル フェアトレード ・BESS5年度総会 ・5周年記念パーティ ・5周年記念誌発行 	 <p>子どもフェスティバルに出店</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援金50,000円
2014.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「BESSだより」10号発行予定 		
2014.10	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県国際交流協会から表彰を受ける。 		

BESS だより 1~9号

内容はホームページに掲載してあります。

<http://www.7b.biglobe.ne.jp.bess/>



1号 (H22年3月)



2号 (H22年10月)



3号 (H23年3月)



4号 (H23年10月)



5号 (H24年3月)



6号 (H24年9月)



7号 (25年3月)



8号 (H25年10月)



9号 (H26年4月)

ベセス Bangladesh Education Support Society

世界の中でも最貧国といわれるバングラデシュ。その国の発展を待てるに一人一人が大切です。小学校は義務教育になっているけど、政府による学校は半分ほど、残りはNGOによる学校で、教もまだ足りません。NGOの学校は資金が足りず、学校はトタン板で覆った簡陋な校舎。電気がなく、机も、椅子も壊れたばかりの粗末な物。教科書、ノート、鉛筆も満足に揃っていません。小学校1年生の入学率は84%ほどですが、継続教育の6年生を卒業するのは30%程度に留まっています。

私も私もトタン板で覆った校舎は大変寒い、暖房はエアコン、暖房の少ない寒い校舎です。

暖房がないから子供は寒がりです。

ナニー工場で働いている子供たち

私達はそんなバングラデシュの子ども達が少しでもよりよい教育を受けられるように頑張ります。メカやパソコン教室でバングラデシュの子どもの進歩が楽しみです。あなたの力を貸してください。

会員の種類 (年会費)	
正会員	6000円
賛助会員	1000円
賛助会員	1000円

問合せ先 〒466-8644 愛知県江南市宮後町中町79番南 芳子
TEL: 0687-54-4303 Eメール: chann@bess.biglobe.ne.jp
ホームページ <http://www.7b.biglobe.ne.jp/bess/>

BESS のちらし

ベセス Bangladesh Education Support Society

バングラデシュ教育支援の会 (BESS) 規約

第一 目的
この会は非営利の会で、バングラデシュの教育の向上を図り、自立していくために支援をする。

第二 名称
この会の名称は、「バングラデシュ教育支援の会」、略して「BESS」とする。
〔「BESS」は「Bangladesh Education Support Society」の略である。〕

第三 所在地
この会の所在地は、愛知県江南市宮後町中町79番地とする。

第四 役員
役員は、本会の趣旨・目的に賛同される方で、国籍、年齢は問わない。

第五 会費
この会には、代表、副代表、会計を各1名置く。

第六 月に1回、役員会 (運営委員会) を開催し、会の重要事項を協議して進める。総会は、年1回開催し、会員に経過報告、会計報告をする。

第七 会費
年会費は、正会員6000円、准会員3000円、1000円とする。

第八 会計監査
1 第七の会費および経費は、出納帳により記録し、現金は通帳へ入金する。
2 会計は、月末をもって、出納帳により、受け入れ金額、払い出し金額、及び残高を算出し、1の経理の報告と符合することを確認する。
3 代表は、年度末をもって2の内容を確認する。

第九 年度
この年度の年次報告は8月から翌年の7月までとする。

第十 設立
この会は、平成21年7月13日に設立する。

附則
代表、副代表、会計、会計監査は次の会員とする。
代表 森崎芳子 愛知県江南市宮後町中町79
副代表 山田元子 愛知県碧南市八幡町城見3405-4
会計 竹野静江 愛知県丹羽郡大口町田3丁目191
会計監査 近藤輝美 愛知県丹羽郡扶桑町青森北123

BESS の規約



H26 10月
愛知県国際交流協会から
表彰を受ける。

平成23年1月22日 (土曜日) 【4】

You Net ゆ・わっと

あなたの心を 癒します

You Net は「You Net」編集部が、日本語・編集しています。「You Net」編集部 yournet@po.sns.ne.jp

バングラデシュ教育支援の会

教育向上と 母親への就業支援

世界で最も貧しい、人口約14億人の4500万人が貧しい。世界に約2億人の貧しい国々がある。バングラデシュは、その中でも最も貧しい国々である。バングラデシュの教育支援の会 (BESS Bangladesh Education Support Society) は、世界中の貧しい国々で、教育支援の活動を行っています。バングラデシュの教育支援の会 (BESS Bangladesh Education Support Society) は、世界中の貧しい国々で、教育支援の活動を行っています。

2011年 ことしも活動開始!!

2011年度は、バングラデシュの子どもの教育支援の活動を行います。バングラデシュの子どもの教育支援の活動を行います。

H23年1月の尾北ホームニュース

2013年 8月20日 (木曜日) 18

中日新聞

貧困、児童労働...学校数も足りず

バングラの子に教育を

江南のNPO「支援の会」

24日、講演や映画上映会

バングラデシュの子どもの教育支援の活動を行います。バングラデシュの子どもの教育支援の活動を行います。

H25年8月の中日新聞

平成25年8月24日 (土)

アリ地獄のような街

THE WHIRLPOOL

大都会ダッカの闇。子どもがアリ地獄に飲み込まれていく。現実の姿を撮った、リアルストーリー。

主催: バングラデシュ教育支援の会 (BESS)
共催: 江南市国際交流協会
後援: 江南市教育委員会

H25年に行った映画会・講演会

バングラデシュ教育支援の会 (BESS) 5周年 記念パーティー

“バングラデシュの 屋下がり”

主催: バングラデシュ教育支援の会 (BESS)
後援: 江南市教育委員会、江南市国際交流協会、愛知県国際交流協会、愛知県青少年海外交流センター

日時: 平成26年8月30日 (土) 午後2:00~4:10
場所: 右築ふれあい会館 (TEL: 0687-54-4303)

プログラム

- ★ 00~ 「バングラデシュの屋下がり」 (45分) 映画上映
- (1) BESS 5周年の経緯と未来への展望
- (2) NPOの活動の紹介 おもてなしボランティアの紹介
- (3) 新しいイベントダンス
- (4) 空想パーティー (バングラデシュの屋下がり)

★ 質疑応答やけりき 参加費 300円

申し込み・問合せ先 TEL・FAX 0687-54-4303
バングラデシュ教育支援の会 (BESS) 事務局
ホームページ <http://www.7b.biglobe.ne.jp/bess/>

BESS 5周年記念会のちらし

平成25年 (2013) 9月27日 (土)

尾北ホームニュース

バングラデシュを知ろう!

国旗が似てるね

江南市知野西小で国際理解講座

バングラデシュの子どもの教育支援の活動を行います。バングラデシュの子どもの教育支援の活動を行います。

H25年9月の尾北ホームニュース

バングラデシュ



基本事項

平成 26 年 5 月 12 日 (外務省)

国名	バングラデシュ人民共和国	ヒマラヤ山脈からガンジス川など3つの大きな川が流れ込むデルタ地帯である。 雨季には国土の3分の1が水につかる。 洪水がよく起こり、貧しい原因にもなっている。
面積	14万4千km ² (日本の約4割の面積)	
人口	1億5,250万人 (人口密度が非常に高い)	
首都	ダッカ	
民族	ベンガル人が大部分を占める	
言語	ベンガル語	
宗教	イスラム教徒 89.7%、ヒンズー教徒 9.2%、仏教徒 0.7%、キリスト教徒 0.3%	
通貨	タカ 1 バングラデシュ タカ = 1.3130 日本 円 (2014/07/29 時点)	
略史	1971年12月16日バングラデシュとして独立	

データで見るバングラデシュ

*2013年6月現在

出典：ユニセフ世界子供白書

	バングラデシュ	日本	コメント
5歳未満児死亡率 (1000人当たり) (人)	46人	3人	日本の約15倍の子どもたちが5歳未満で命を落とす
衛生施設を利用できる比率 (%)	56%	100%	半数近くが安全な衛生施設を利用できない
小学校の最終学年まで在学する率 (%)	66%	100%	中等学校就学率は平均 47.5%
成人識字率 (%)	57%	100%	成人の約半分が読み書きができない。スラム街や田舎に行くともっとかなり低い。
国際貧困ライン1日1.25米ドル未満で暮らす人の比率 (%)	43%	—	およそ2人に1人が貧困ライン以下
平均寿命 (年)	69歳	83歳	日本は世界1位、バングラデシュは世界117位

※ これはバングラデシュ全体の統計であり、支援しているチャンパラのスラム街はもっと悪い状況である。

BSDP スクール児童数の推移

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
幼児	45人	45人	50人	60人	88人	110人
1年生	93	101	100	70	84	64
2年生	31	60	100	112	55	57
3年生	26	33	60	66	79	65
4年生	24	47	50	51	52	75
5年生	33	45	35	38	46	50
合計	252人	331人	395人	397人	404人	421人

学校に対する関心が出てきて、学校に来る子供の数が増えてきた。

BSDP スクールの時間割

バングラデシュの小学校は放課なしで毎日、同じ時間割である。
 1・2年は30分づつ3教科。
 3・4・5年生は40分づつ6教科を勉強する。
 教室が足りないので1部で低学年が勉強し、その後チェンジして高学年が勉強する。
 途中から来る子や早く帰る子もたくさんいる。学校に飲める水はでないので水が飲みたい時は家に帰る。そのまま帰ってこない子が多い。

	時間	幼稚園	1年	2年
1部	① 8:00~8:30	ベンガル語	ベンガル語	ベンガル語
	② 8:30~9:00	算数	算数	算数
	③ 9:00~9:30	英語	英語	英語
		3年	4年	5年
2部	9:30~10:00	集 会		
	① 10:00~10:40	ベンガル語	ベンガル語	ベンガル語
	② 10:40~11:20	算数	算数	算数
	③ 11:20~12:00	英語	英語	英語
	④ 12:00~12:40	社会	社会	社会
	⑤ 12:40~1:20	理科	理科	理科
	⑥ 1:20~2:00	宗教	宗教	宗教

チャンパラ スラム街 女性の縫製訓練 毎年の 修了生の数

	午前 8:00~12:00	午後 3:00~6:00	合計
1~4月	15	15	30
5~8月	15	15	30
9~12月	15	15	30
合計	45	45	90名

金曜日を除く毎日訓練している。
 5年間で400名ほどの女性達がミシンや刺しゅうなどの縫製の訓練を受けた。
 訓練後は縫製工場に就職したり、ノクシカタ刺しゅうの民芸品を作ることができるようになり、女性達も現金収入を得ることができるようになってきた。

バングラデシュ アラカト (写真)

カルチャーショックの宝庫バングラデシュ !



道端にある床屋で散髪してもらおう。



こんなカラフルな車もよく走っている。



汚れた川で沐浴したり洗濯したり、水を汲んで帰る。



この町で唯一きれいな水が出るところに水を汲みに来るよ。



こんな橋をよく見かけるよ。



バスの屋根にも人がいっぱい。



レンガを作っている所がたくさんある。



たくさんのリキシャや車や人が混在し、いつも渋滞している。



金持ちの結婚式

日本とはまた違う問題が山積



学校に行かないで磁石で鉄クズを拾って売る子供

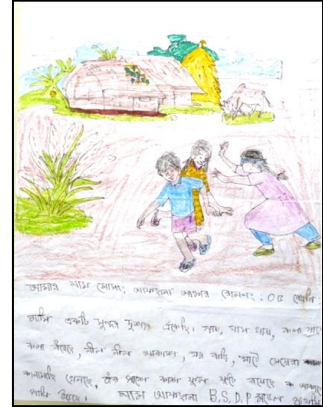
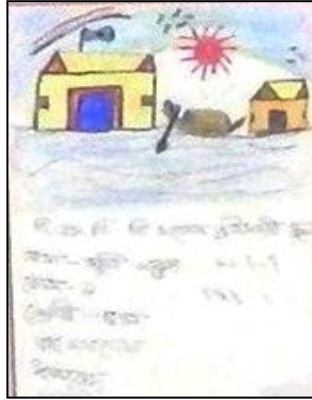


病気で動けなくなり、道端で寝ている女性



ゴミは道路に捨てられている。

皆さんから頂いた中古の色鉛筆を使って
現地の子供たちが描いた絵や日記



編集後記

皆様のおかげで5年間有意義な活動をすることができました。誠にありがとうございました。これからはフェアトレードの活動を中心に進めて現地支援につなげていきたいと思えます。これからもご指導をよろしくお願いいたします。

運営委員

森崎 芳子	佐竹 静江	山田 元子	近藤 晴美
松浦 智恵子	大池 小夜子	谷口 喜八	

協力者

佐藤 静代	新田 潔	小沢 恵子	山田 富美子
馬場 とよ子			

問合せ先 〒483-8044 愛知県江南市宮後町中町 79 森崎 芳子
TEL・FAX 0587-54-4303 メール m-hanzu@msd.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www7b.biglobe.ne.jp/bess/>

Bangladesh の観光

独立記念塔
(1971年コクスタから独立) 世界遺産 バハール



世界遺産 バゲルハット Bangladesh 国会議事堂